

科目名 Course Name	保育実習指導Ⅲ Guidance and Evaluation on Childcare Practice III			ナンバリング No.	K3-012		
年次	2年	期別	春期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	大塚 登						
連絡先(質問等)	本館2階大塚研究室						
必修/選択	選択(ⅡまたはⅢの保育士選択必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	保育所以外の児童福祉施設で保育実習を行う場合の実習内容、実習にあたっての注意点を学ぶ。また、社会的養護についての意義を再考し、その目的に沿った子どもたちへの支援を考えることを通し、個々の実習施設及び保育士の仕事について理解を深め、必要な基礎技術を習得することができる。						
授業の方法	自分の実習施設の法的位置づけ、サービス内容を学生が調べ、それに基づいた実習課題を考え、発表し合う授業形態をとる。後半では実習書類やマナーについて情報を提供する。						
学習成果	L01	社会人としてわきまえのある言動を考え、移すことができる。					
	L02	それぞれの実習施設に応じた実習準備をすることで、施設保育士の仕事を理解し、積極的に実習に臨むことができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	毎時間実施するワークシートの記入内容を確認し、習熟度を見定めて助言を行う。						
教科書/参考図書	佐野日本大学短期大学「保育実習の手引き」 資料を毎回用意します。						
履修上の留意点やルール等	毎時間資料を用意するので、ファイルを用意してください。事前・事後学習時間の目安は各回 45 分相当とします。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	保育士・実習生としてふさわしい態度を考えて授業に参加してもらいたい。毎回のワークシートにて評価する。5点×12回	60			
レポート/作品	「実習に臨んでの課題・抱負」の作成。実習に臨んで適切な課題を3つ程度挙げる。		20		
発表	調べた内容が分かり易いように、棒読みではなく、適度な声の大きさ・速さで発表する。		10		
小テスト					
試験					
その他	資料(HP、実習報告書)をよく読み、自分のことばでまとめること。	10			
<b>合計</b>		70	30		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(保育実習Ⅲのねらい、授業の進め方、評価の方法)
	事前・事後学習	「保育実習の手引き」を読んでおく
2	授業内容	各実習施設の理解1(根拠法令・法人名・サービス内容等を調べる)
	事前・事後学習	当該内容を発表用パワーポイントに打ち込む
3	授業内容	各実習施設の理解2(発表)
	事前・事後学習	発表用パワーポイントを仕上げておく
4	授業内容	子どもの運動発達・身辺自立の発達
	事前・事後学習	今までの学びから運動発達・身辺自立の発達について復習しておく
5	授業内容	子どもの遊び・社会性の発達
	事前・事後学習	今までの学びから遊び・社会性の発達について復習しておく
6	授業内容	子どもの言葉の発達
	事前・事後学習	今までの学びから言葉の発達の発達について復習しておく
7	授業内容	保育技術を高める1(先輩の実習体験から学ぶ)
	事前・事後学習	
8	授業内容	保育技術を高める2(個別療育・集団療育)
	事前・事後学習	
9	授業内容	実習日誌の書き方1(「実習に臨んで」)
	事前・事後学習	「実習に臨んで」(1稿)を仕上げ、項目をパワーポイント化して提出
10	授業内容	実習日誌の書き方2(「実習に臨んで」と「本日のねらい」の関連)
	事前・事後学習	「実習に臨んで」の下位項目を考え、項目をパワーポイント化して提出
11	授業内容	実習日誌の書き方3(「本日のねらい」の項目を発表し、共有化する)
	事前・事後学習	「実習に臨んで」の下位項目を修正し、提出
12	授業内容	実習日誌の書き方4(動画を視聴し実習日誌に1日の記録を書く)
	事前・事後学習	1日の記録を清書し提出
13	授業内容	実習に向けて1(実習書類の記入と確認・・・実習生調書、保健関係など)
	事前・事後学習	実習書類を仕上げる
14	授業内容	実習に向けて2(オリエンテーションの設定、細菌検査など)
	事前・事後学習	オリエンテーションの申し込みを行う・オリエンテーションを行ってもらう
15	授業内容	実習に向けて3(最終確認、職業倫理)
	事前・事後学習	実習に向けて怠りは無いか確認する